



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 22 年 4 月 23 日(金)・5 月 1 日(土)
旧二小の桜ライトアップ 編

平成 19 年 3 月に 100 年の歴史を閉じた能代市立淳城第二小学校…。中心市街地にあり、能代の歴史を支えてきたかけがえのない存在でしたが、そこから子供達の声が聞こえることは無くなりました。でも、校舎も校庭も残り、現在は能代市の教育事務所としての役割を果たしています。

この学校は昔から桜の名所であり、現在も 80 本の桜が見事に咲き誇り、訪れる人も多い場所です。そんな中、平成 20 年から上町自治会を中心に同窓生、在職した先生、元PTA、市役所職員など 70 名ほどが集まり、春と秋の年 2 回、草刈りや花壇の手入れをし、美化活動に汗を流しています。秋にはチューリップの球根を植え、桜の周りには腐葉土や生ごみの堆肥を入れて春の訪れを待ちます。

その作業の際いつも出る話題が「いつかここで桜のライトアップをして、みんなでお花見ができるといいね。」でした。

そして今年、その夢が見事に実現しました。団体名は《旧淳二小「桜」をライトアップする会》

主な協力団体は、能代市地域活性化協議会・のしろ白神ネットワーク・青年会議所・上町自治会。協力会社は石油組合能代山本支部・幸和リース・西村土建。いつも「まち灯り」でお世話になっている頼もしい皆さんの大きな力をお借りしての開催となりました。

例年ですと、この時期は桜が満開となるはずですが、今年は肌寒い毎日が続き、いっこうに気温が上がらず、桜は蕾のまま…。何とか咲いて！という願いも叶わず、寒さに震えながらの準備となりました。

白熱電球 100 個はイベントのプロ、青年会議所からお借りし、電線は約 100 メートルを使用、桜の枝にコードを巻きつけながらグラウンド全体に設置。電源は発電機を使用し、軽油は石油組合が無償で提供して下さいました。この準備で大活躍だったのが我がのしろ白神ネットワークの「黒松友の会」や「上町自治会」の男性の皆さんでした。大きな機材もトラックも持っていませんが、持ち前のフットワークの良さで人海戦術。

上町ほっとステーションからのスギ灯りの運搬、電球の取り付けなど実に手際が良く、我々すみれ会は関心するばかり。女性は、電気系はどうも苦手。頼もしい殿方に感謝でいっぱいになりました。



多くの関係者やボランティアの方々が続々と集まってきます。



スギ灯りを桜の周囲に手際よく並べていきます。



市長も参加しての点灯式。桜は満開にはまだまだ遠い状態でしたが、一斉に当りは明るくなりました。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

点灯式には能代市長もおいでいただき、みんなで拍手！！ちよっぴり寒かったけれど、ライトアップは大成功！！初めて灯されたグラウンドのスギ灯りのろうそくの美しさに、みんなうっとり。

ろうそくの温かさとみんなの心が伝わって、桜の蕾が膨らんだような～（気のせい？）

来年は満期の桜の下でスギ灯りろうそくを眺めながら、杉屋台で観桜会が出来たら最高ですね～「連携」の重要性和効力を実感した私です。素晴らしい！！

文：能登 裕子

5月に入り、やっと能代の桜が満開となりました。旧湊城第二小学校もきれいな桜がぐるっと校舎を囲んでいます。前回と違って風があり、スギあかりのろうそくが消えるのでは、と心配。

夕方、設置準備に行くと、すでに黒松友の会のメンバーがどんどん設置してくれています。今回も大活躍でした。上町自治会の男性陣と共に手際がよくて本当に頼りになります。

日が落ちてきて、まずは電灯にあかりがつかしました。桜がライトアップされるといよいよスギあかりのろうそくに火を灯します。風があるため火がついてもすぐに消えてしまいますが、それでも夜桜とスギあかりのろうそくの光がなんとも幻想的で見に来た人たちがとても喜んでいました。

「ろうそくの灯りって、こんなにきれいなんだね」「夜桜とろうそくの灯りがなんて素敵・・・」と、どの人も時間を忘れて見入っていたのが印象的でした。

うれしいことに、黒松友の会や私達がろうそくが消えるたびに付けてまわっていたら、なんと、見に来た人々が次々に手伝ってくれたんです。初めてのライトアップでしたが、たくさんの方が今は廃校になった第二小学校の夜桜を楽しんでくれました。ただ、ろうそくが途中で溶けたロウに芯が埋まってしまう、火が消えてしまうのが今後の課題となりますね。

二小の桜を愛するボランティアの人が肥料をやったりとお世話をしてくれたので、見事に桜が咲いて、上町自治会、のしろ白神ネットワークなどたくさんの協力で今回のライトアップイベントを開催できました。みなさん、楽しかったですねえ。またいろんなイベントで楽しみたいですね。

文：平山 はるみ



練習を終えた小学生たちも、つつい灯りに引き寄せられていきます。



男性陣が手際よくスギ灯りを並べて準備を進めて下さいました。あいにくの風で、何度もろうそくは消えてしまいましたが、その都度火を灯して、場の演出に努めました。



この日を待っていたかのように、学校周辺の桜は見事に満開となりました。ライトアップされた桜は、灯りを消してしまうのが嬉しいほど美しく、幻想的でした。